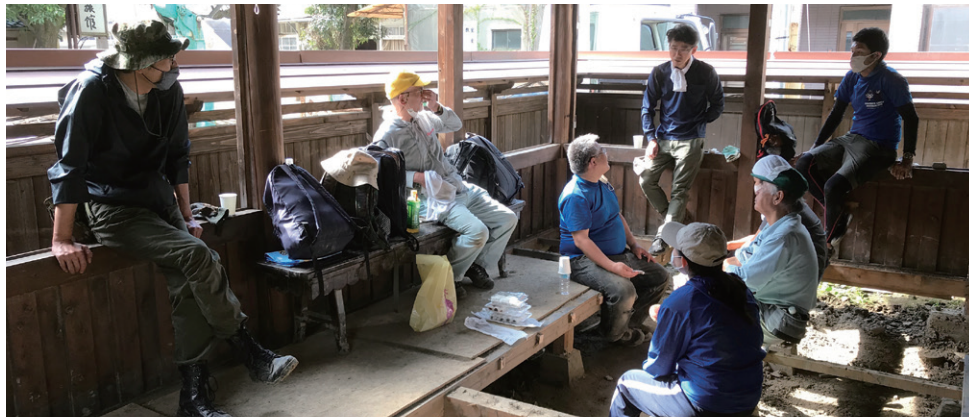


2020(令和2)年度上半期(4-9月)の活動



9月20日人吉旅館

- | | |
|---------------------------|--|
| 2020(令和2)年(4月例会を5月に開催) | 3月21日 被災文化遺産復旧報告会 |
| 5月 2日 第40回理事会(書面表決) | 4月16日 緊急事態宣言全都道府県に拡大
(5月25日 同上解除) |
| 5月25日 年次総会2020
第41回理事会 | 総会と直前理事会を書面表決で開催 |
| 6月22日 第42回例会/理事会 | 7月 4日 令和2年7月豪雨で
人吉球磨地域被害 |
| 7月27日 第43回例会/理事会 | 7月19日 タスクフォース人吉1 |
| 8月24日 第44回例会/理事会 | 7月20日 運営会議(理事会前役員会)ス
タート(第一回はZOOMで) |
| 9月28日 第45回例会/理事会 | 財政部会・歴まち部会・遺産ネット部会の
開催続く(会場は主にパレアルーム) |
| | 9月20日 タスクフォース人吉2 |

熊本まちなみトラストでは、会員募集とともに事務局やイベント時のボランティアを募集しています。詳しくは下記までお電話、FAX、メールでお問い合わせください。



NPO法人熊本まちなみトラスト

〒860-0078熊本市中央区京町1-8-24 株式会社人間都市研究所 内

TEL096-326-6611 / FAX096-326-6612

E-mail: info@kumamoto-machinami-trust.org

HP: kumamoto-machinami-trust.org

Facebook: @kumamoto.trust Twitter: @km_trust

まちなみトラスト

— まちの記憶をつなぎ希望を育む —



Vol.
03
2020

熊本まちなみトラスト広報誌第3号は2020年度上半期の活動を中心にお届けします。2019年12月に中国・武漢で新型コロナウイルス肺炎が発生し、年が明けると世界各地に感染が広がりWHOは2月に「COVID-19」と命名し、3月に「パンデミック」宣言を発出。日本でも4月16日に緊急事態宣言が全都道府県に発出され、多人数での会合やイベントが行えなくなる事態に。さらに令和2年7月豪雨は人吉球磨地域をはじめ県内各地に甚大な被害をもたらしました。熊本まちなみトラストは、WMF(ワールド・モニュメント財団)の緊急支援を受けて人吉にある国有形登録文化財の温泉旅館の復旧支援に入りました。

2020年 年次総会P2	会員近況P9
新しい活動体制と基幹事業P4-5	第3期活動計算書(実績報告)P10
令和2年7月豪雨復旧支援活動P6-7	新役員名簿P11
私の「記憶の継承」P8	上半期の活動年表P12

2020年 年次総会が開催されました バレア第9会議室

2020(令和2)年5月25日 総会で下記1～6号議案を可決しました。

	書面表決書						
	1号議案	2号議案	3号議案	4号議案	5号議案	6号議案	
1	○	○	○	○	○	○	1
2	○	○	○	○	○	○	2
3	○	○	○	○	○	○	3
4	○	○	○	○	○	○	4
5	○	○	○	○	○	○	5
6	○	○	○	○	○	○	6
7							
8							
9	○	○	○	○	○	○	7
・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・
49	○	○	○	○	○	○	33
							67.3%

● 2019年度事業報告と決算報告(第1、2号議案)

5月のシンポジウム、8月の明八イベント、秋から冬にかけての出前講座、パブリックコメント提出、日本イコモス賞の受賞と多彩な活動の年であった。

● 2020年度事業計画と予算(第3、4号議案)

旧住友銀行支店社屋がカーリーノ魚屋町ビルとなり、近代建築の再生を図る新町古町の復興まちづくりに対応した予算編成を行った。

● 役員改選に関する議決(第5号議案)

新理事に古賀輝さん、西島真理子さん、三國隆昌さんが選出されました。

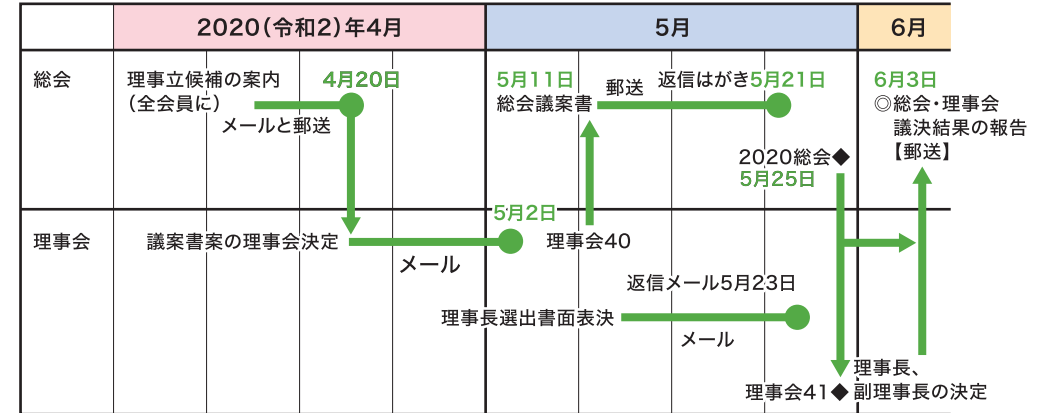
● 会勢拡大に関する議決(第6号議案)

財政基盤を安定させるために、法人会員の増強と委託業務受託の道を開くことを決議しました。

● 議事終了後、部会報告もおこなわれました。

その後の理事会で理事長、副理事長が決まりました

熊本まちなみトラスト2020年総会の手順(実績)



コロナ禍における年次総会は、書面による表決を取り入れた議決で議案各号を可決しました。すなわち、正会員49人中33人からあらかじめ書面表決書を提出していただき、会場に出席された15人はリアルな表決、欠席の17人は書面による表決となりました。

総会で承認された理事による理事会であらためて選任された伊藤重剛理事長が竹田宏司さんと鄭一止さんの2人を副理事長に任命しました。

理事立候補の案内から総会結果の報告書発送まで概ね2ヶ月を要しました。

総会、理事会で今後の活動体制について議決されました

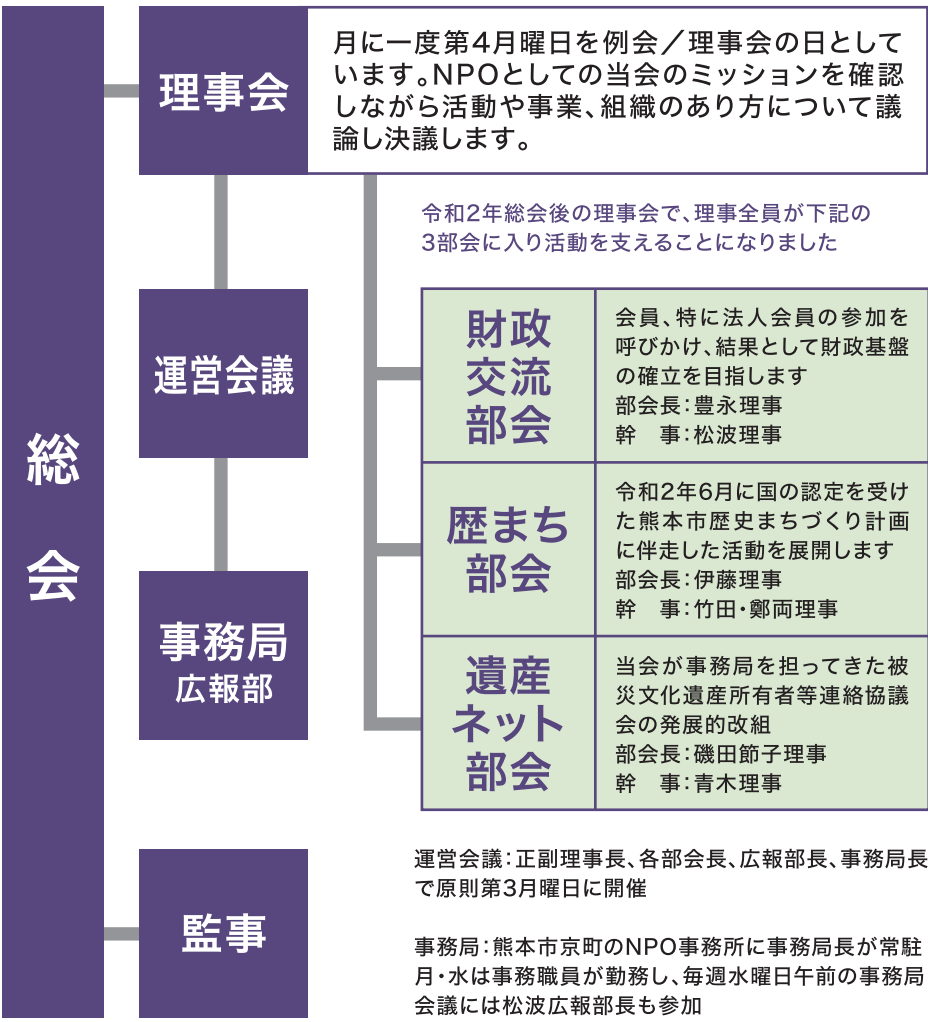
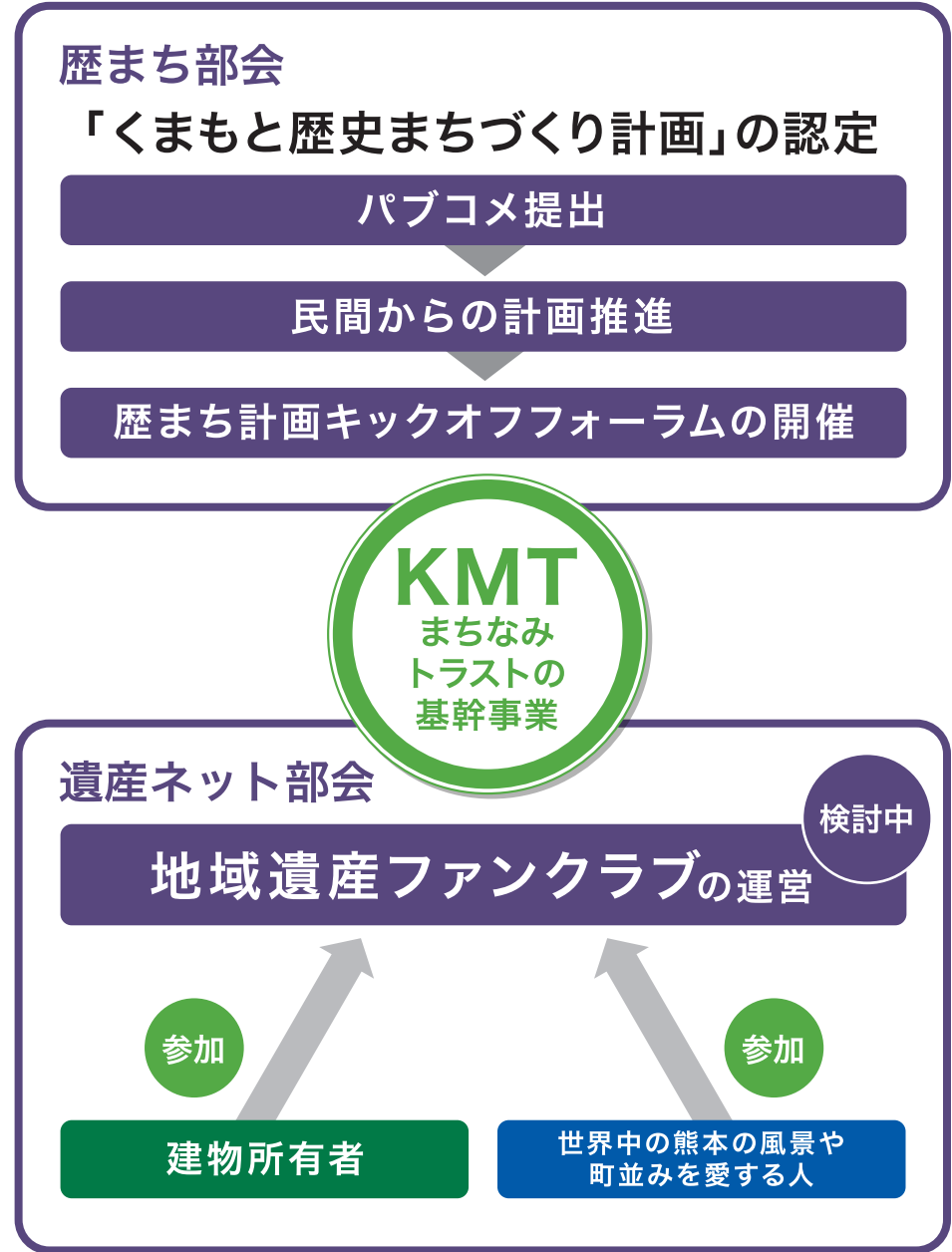


図.NPO法人熊本まちなみトラスト 令和2(2020)年度 活動体制

5月の年次総会で3つの部会による事業の推進と「運営会議」によるガバナンスの強化が決議された。

現在、各部会の活動が活発に行われています



令和2年7月豪雨

梅雨前線が停滞し2020年7月3日から4日九州で多数の線状降水帯が発生しました。気象庁は4日4時50分に大雨特別警報を熊本県・鹿児島県に対して発表しました。この雨で球磨川が氾濫し、人吉球磨地域は津波に襲われたような甚大な被害を受けました。

熊本高専在職中に登録文化財選定調査に関わった当会の磯田節子理事は人吉市の2件の登録文化財温泉旅館が甚大な被害にあったことを知り、

すぐに復旧アドバイザーとして現地に入りました。7月19日には伊藤理事長の呼びかけで12人のタスクフォースメンバーで調査と泥出しボランティア作業に出かけました。この日には堤邸、第2回の9月20日には人吉旅館に入りました。人吉旅館の応急復旧作業に対しては、ワールド・モニュメント財団のCRF(crisis responsible fund/危機対応基金)が熊本まちなみトラストに支給されました。

7月19日 タスクフォース人吉1

被災後すぐに現地入りし作業開始した磯田理事をバックアップしようとの思いで理事を中心に12人でタスクフォースを編成し水の手橋際の被災した古民家のどろ出しボランティア作業を行った。作業終了後夕方から中心市街地を巡回し、聞き取り調査を行った。



朝9時の朝礼と午後3時までの作業分担

9月4日 人吉市長に要望書提出



賛同者である地元まちづくり団体、温泉旅館女将さんとともに、伊藤理事長・磯田理事から市長へ要望書が手渡された。

人吉市長 松岡 幸人 様		令和2年(2020年)9月4日	
提案者	NPO法人熊本まちなみトラスト	理事長	伊藤 重剛
提案に賛同します			
鍛冶屋町通りの街なみ保存と活性化を計る会	会長	立山 茂	
人吉温泉女将の会「さくら会」	会長	有村 政代	
芳野旅館	女将	田口 妙子	
人吉旅館	女将	堀尾 重美	
人吉球磨ヘリテージマネージャーの会	代表	久保田貴紀	
日本イコモス国内委員会	委員長	岡田 保良	
ワールド・モニュメント財団	日本代表	稲垣 光彦	
人吉市中心市街地の復興に向けたまちづくりに関する要望書			
.....			
.....			
.....			
1. 復興事業に「歴史を活かしたまちづくり」という目標を掲げて取り組んでいただきたい。			
2. 復旧活動に携わる所有者や施工者等の関係者、市民に対し、「歴史を活かしたまちづくり」という目標を共有し、肯定し、応援していただきたい。			

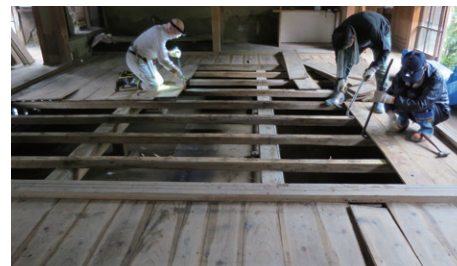
9月20日 タスクフォース人吉2



豪雨被災から2ヵ月半後。人吉旅館の緊急泥出しは、高校生ボランティアなどの手によってかなり進んでいた。この日は壁や棧にへばりついた泥をブラシなどでかき落す作業を主に行った。



縁側下の泥のかき出しと一輪車での運搬



床下の泥のかき出しのための床板はがし



作業終了後記念写真

シリーズ

私の「記憶の継承」

先日、縁あって熊本市内のマンションの一室を借受け、転居した。ひとり暮らしには十分な広さである。室内にあるハシゴを登れば3帖ほどの空間がロフトとして広がる。早速、机とPCを持ち込み仕事部屋としてみた。しかし、このハシゴの上り下りがどうも具合が悪い。やたらと体力を消費する。もうそんな歳だっけ？いやいや、そんなはずはない。古賀調べによると、白髪は多いがまだまだ十分に若い(諸説あります)。しかしながら、どうもハシゴの寸法が合っていない気がする。…イカンではないか。

それもそのはず。ハシゴは子供用2段ベッドのものを転用してあった。子供が基準になっているため今の用途では上がる途中で踏板が無くなる。最上段の踏板からロフトまでの高さは約70センチ。この70センチを乗り越えるために、どうしても「よっこいしょ!」の掛け声が必要となるのだ。どうやらロフトを仕事部屋として使おうという見積りが甘かった。しかし、なぜオーナーさんはロフトの高さに応じたハシゴを新たに造作せず、子供用2段ベッドのものを寸法の合わないまま再利用したのであろうか。

よっこいしょ!と毎晩上り下りしながらいろいろ考えているうちに、ひとつの見解を得た。このハシゴにはオーナーさんの思い出が詰まっているのだ。お子さんが毎日上り下りしていた思い出なのだろう。その思い出があるからこのハシゴを転用したのかな。慌ただしく忙しい毎日においても形成される幸せというもの。日常に埋没して気付かないかもしれない。しかし、このハシゴは子の成長の記憶と共に、幸せだったという感情も思い起こさせてくれるのであろう。こうやって、思い出とともに、このハシゴは捨てられることなく後世にバトンタッチされていく。何かを大切にすることとはこういうことなのだろうか。

人吉球磨地方を襲った水害の災害ボランティアに複数回参加させていただく機会を得て、驚いたことがあった。多くの住宅で使用されている新建材のボード、ベニヤ類は使えない状態となっているが、土壁はそのまま残っていたのである。土壁は日本固有のひとつの完成形なのだろう。新しいものを美徳とし、古いものには蓋をした戦後の風潮のなかで失った「古きものの良さ」であり、過去の水害を乗り越えた先人たちの知恵と記憶が込められている。

仕事で国が所有する明治期の長屋を扱うこととなった。残念ながら国には「更地信仰」の精神がDNAレベルで染みついている。解体される運命であったが、多くの先生方に指南もいただきながら見切り発車で始めた建物調査、建築学会

への報告が功を奏し、長屋は解体されることなく第三者による活用の途を探ることとなった。過去に目を向けることはこれから先の可能性を見出すことに繋がる。何かを大切にすること。自分に課しているテーマであるが、これからも考え続けることになるだろう。



古賀 輝

九州財務局勤務/
熊本まちなみトラスト理事

会員近況

「関西生活4年目、京都市文化財マネージャーとして活動中」

池田 由美

本年7月豪雨は熊本県に想像を絶するような爪痕を残し、胸が締め付けられる思いがいたしました。被災からの復興にトラスト一員として何もお役に立てず心苦しく思っています。

私は2016年6月、4年かけて作りあげた熊本の新居を残し、後髪を引かれる思いで大阪に移りました。想定外の夫の転勤で止むを得ないことでした。その後、気持ちを切り替えてかねてより興味があった伝統建築について基礎から勉強しようと、2017年から2年間京都建築専門学校の伝統建築科で、2019年春には京都市文化財マネージャー育成講座で学び、昨秋から京都市の歴史的建造物を文化財にするための調査に携わっています。昨年はウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計した日本福音ルーテル賀茂川教会の調査をしました。ご存知のように日本福音ルーテル教会は明治時代、アメリカから九州に伝わり、熊本で布教活動が盛んに行われました。この宗派の宣教師が建てた九州学院高等学校講堂兼礼拝堂は5年ほど前、「けんちく寿プロジェクト」で皆様とともに卒寿のお祝いをしましたね。設計者はやはりヴォーリズです。水道町の日本福音ルーテル熊本教会もまたヴォーリズ設計で、熊本地震での被災から見事立ち直り、昨年国の登録有形文化財になりました。今回類例として報告書に書くために初めて熊本教会の内部をじっくり見学させていただきました。熊本の信徒の皆様を感じ、細部にこだわった美しい造りに感動しました。日本福音ルーテル賀茂川教会の報告書は今春京都市に提出し、先日「京都を彩る建物や庭園(京彩)」に認定されました。京彩に認定されると建物修理費の3分の1以内、上限500万円まで市からの補助を受けられます。今秋からは料亭「瓢亭」の調査を始めました。

最後に愛する熊本拙宅の紹介を少し。土地の広さと建ぺい率の関係から、18坪の建坪ですが、内部に松平不昧公の茶室「菅田庵」に似せた一畳台目中板入りの茶室を作りました。時々熊本に帰ってわが家に癒されています。皆様一服いかがでしょうか。お待ちしております。



熊本新居の茶室「蛭流庵」の前で長女と(この頃茶室前の照明はまだ工事用でした。)

第3期(令和元年度)活動計算書

平成31年 4月 1日～令和2年 3月 31日 まで (単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費	313,000	360,000	
正会員受取会費	47,000		
賛助会員受取会費			
2. 受取寄付金		1,349,000	
受取寄付金	1,349,000		
3. 受取助成金等		1,100,000	
受取民間助成金 ※1	1,100,000		
4. 事業収益			
A 事業収益 (歴史文化資産の顕彰事業)	57,550		
B 事業収益 (歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業)	8,000		
C 事業収益 (歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版)	0		
D 事業収益 (歴史文化遺産を活用した不動産事業)	0		
E 事業収益 (歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業)	0		
F 事業収益 (その他当法人の目的を達成するために必要な事業)	0	65,550	
5. その他収益			
受取利息	9	9	
経常収益計			2,874,559
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
イベントバイト代	97,000		
法定福利	0		
人件費計	97,000		
(2) その他経費			
会場費	8,500		
印刷製本費	304,650		
諸会費	10,000		
諸謝金	30,000		
旅費交通費	221,400		
消耗品費	69,976		
通信運搬費	49,594		
雑費	19,114		
租税公課	2,400		
支払手数料	1,800		
会議費	4,520		
研修費	2,800		
外注費	364,800		
修復支援金(寄付金)	110,000		
調査費	2,852		
保険料	10,703		
その他経費計	1,213,109		
事業費計		1,310,109	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	571,500		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
人件費計	571,500		
(2) その他経費			
会場費	10,200		
印刷製本費	39,400		
旅費交通費	7,050		
消耗品費	8,277		
地代家賃	600,000		
通信運搬費	23,761		
租税公課	1,200		
支払手数料	11,532		
会議費	30,060		
その他の経費計	731,480		
管理費計		1,302,980	
経常費用計			2,613,089
当期正味財産増減額			261,470
前期繰越正味財産額			419,811
次期繰越正味財産額			681,281

2020-2021(令和2-3)年度役員名簿

役職名	氏名	プロフィール
理事	あおき かつし 青木 勝士	熊本県職員・熊本県立大学派遣 / 専門は日本中世史 / 熊本被災史料レスキューネットワーク事務局
理事	あそだ よしひさ 麻生田 栄壽	不動産鑑定士 / 熊本県鑑定士協会会長時代には協会の公益社団法人化に尽力 / 趣味はバイク・車
理事 理事長	いとう しゅうこう 伊藤 重剛	熊本大学名誉教授 / 専門は西洋建築史 / 近年「甲斐青萍熊本町並み画集」を出版。真言宗僧侶。
理事	いそだ けいし 磯田 桂史	熊本大学五高記念館客員教授 / 公務員退職後崇城大学に勤務し、熊本の近代建築史に取り組む
理事	いそだ せつこ 磯田 節子	元熊本高等専門学校教授 / 専門は都市計画・建築計画 / 熊本初のコーポラティブ住宅に参画し住む
理事	おか ゆうじ 岡 裕二	舩ワークス主宰 / 専門は地理学 / まちづくりコンサルタントとして各地の調査・計画に参画 / 川尻在住
理事	くどう えいいちろう 工藤 栄一郎	西南学院大学商学部教授 / 専門は会計学・会計史 / 新町古町で現代の町屋に暮す
理事	こうだ りょういち 幸田 亮一	熊本学園大学商学部教授 / 専門は経営史 / 同大学前学長 / 共編著「熊本の近代化遺産」出版に尽力
理事 新	こが あきら 古賀 輝	財務省九州財務局国有財産管理官 / 熊本市内の国有財産を古い建物を残しながら処分できないか検討
理事	さいごう まさひろ 西郷 正浩	崇城大学工学部教授 / 専門は建築設計・計画 / 旧JR上熊本駅舎の保存に尽力
理事	しばた ゆう 柴田 祐	熊本県立大学環境共生学部教授 / 専門は農村計画・景観計画 / 熊本地震、熊本豪雨の被災地で活動
理事 副理事長	たけだ あつし 竹田 宏司	玉名市立歴史博物館館長 / 専門は考古学 / 熊本地震後新町古町復興プロジェクトに参画
理事	たなか なおと 田中 尚人	熊本大学熊本創生推進機構准教授 / 土木史・景観論 / 熊本地震後益城町・山都町等で活動
理事 副理事長	ちよん いるじ 鄭 一止	熊本県立大学准教授 / 専門は都市計画・まちづくり / 新町古町のまち再生のための調査研究実施中
理事	つじ やすあき 辻 泰明	熊本大学で熊本地震総合調査に従事した / 水前寺や宇城市で地域遺産を活かした地域活動に参画
理事	とよなが のぶひろ 豊永 信博	熊本市役所勤務時代は合併推進に尽力 / 地震後県内各地を調査・活動 / 中心市街地の復興にも尽力
理事	ながの せいじ 長野 聖二	建築家 / アートボリス推進賞等受賞多数 / 事務所は河原町 / 地震後新町古町復興プロジェクトに参画
理事 新	にしじま まりこ 西島 真理子	一級建築士・ヘリテージマネージャー / 熊本城宇土櫓等歴史的建造物の修復設計に長年携わる
理事 事務局長	ふじかわ かずひろ 富士川 一裕	都市計画家 / 人間都市研究所 / まちなみトラスト事務局長 / 2019年荒木精之賞(県文化協会)受賞
理事 広報部長	まつなみ たいじん 松波 大仁	現役時代は企業の経営企画・営業部門で英国等海外勤務 / 業務システム設計・改革を経験 / 川尻在住
理事 新	みくに たかあき 三國 隆昌	熊本日日新聞社編集局文化生活部デスク / 「古地図で歩く城下町くまもと」の記事が人気を博す
理事	みやの けいすけ 宮野 桂輔	高木富士川計画事務所勤務 / 小沢町の事務所と住まいが激しく被災 / 新町古町復興プロジェクトに参画
理事	やの かずゆき 矢野 和之	日本イコモス国内委員会事務局長 / 地震後調査団を組織し県内各地を調査しすばやくアピール文を公表
理事	やまだ みのる 山田 穰	元東海大学准教授 / 専門は都市計画・造形デザイン / 2016年夏の復興事務所運営に尽力
監事	さいとう おさむ 齊藤 修	弁護士 / 事務所は草葉町 / 任意団体設立当初から当団体を支援
監事	あらか こうすけ 荒木 幸介	公認会計士 / 事務所は新屋敷 / 任意団体設立当初から当団体を支援